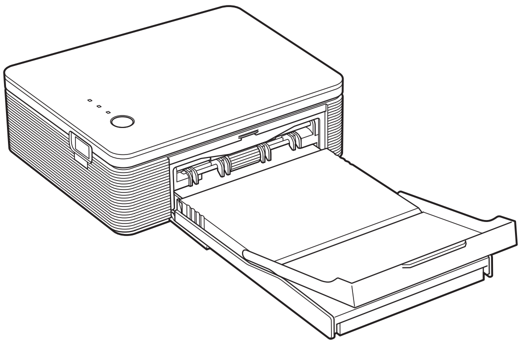
SONY

2-190-186-**02** (1)

デジタルフォト プリンター

DPP-FP30



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ **警告**　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SUPER COAT 2　PictBridge

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5~8ページの注意事項をよくお読みください。

↓

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

↓

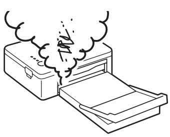
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

↓

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

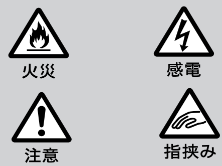
⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種CD、TV映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MMX、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- 本ソフトウエアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。
- Libtiff

  Copyright © 1988-1997 Sam Leffler

  Copyright ©1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
- Lib png

  Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

  Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger

  Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson
- Zlib

  ©1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler
- 本製品はフジフイルム製ソフトウエア「Exif Toolkit For Windows Ver.2.4 (Copyright © 1998 FUJI PHOTO FILM CO., LTD. ALL rights reserved)」を使用しています。Exif はJEITA(電子情報技術産業協会)が規定するデジタルスチルカメラ用イメージファイルフォーマット標準規格です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次

お使いになる前に

準備する

PictBridge対応のカメラからプリントする（PictBridgeモード）

パソコンからプリントする（PCモード）

困ったときは

その他

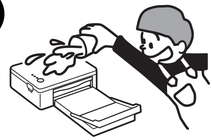
⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

禁止



水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

内部を開けない

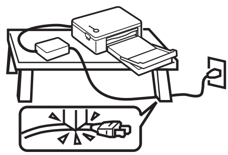
分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを開けたり改造すると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

禁止



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり､引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

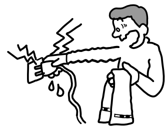
禁止



火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因になることがあります。

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

指定の AC アダプター以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

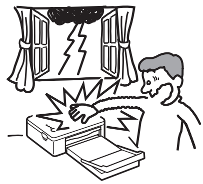
⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

落雷すると、誘電雷により、火災や感電の原因となります。

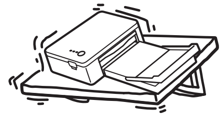

接触禁止



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置•取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

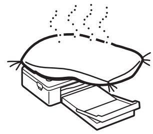

禁止



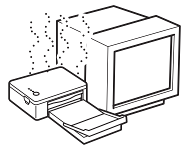
通風孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。


禁止



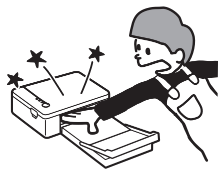
- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



幼児の手の届かない場所に置く

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。お子さまがさわらないようにご注意ください。

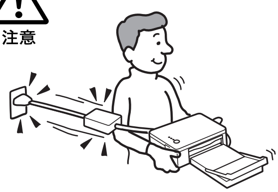

指挟み



移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。


注意

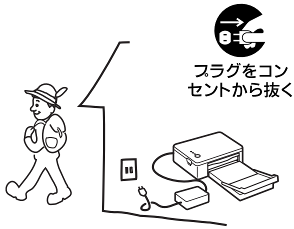


⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



本体を他の機器と一緒に積み重ねない

本体を他のAV機器などと一緒に積み重ねて設置しないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。


禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



本体の上に乗らない、重いものを乗せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。


禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。


禁止

CD-ROMについて

同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホン等を破損する恐れがあり、故障の原因になることがあります。


禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続•配置してください。

指示

電源コード、ペーパートレイ挿入ドア、カートリッジカバー、ペーパートレイなどを持って本体を持ち上げない

落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。

禁止

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

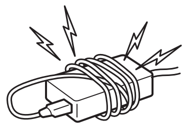
この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

注意

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない。

断線や故障の原因となることがあります。

禁止



通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

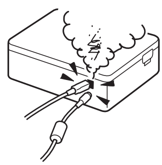
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

注意



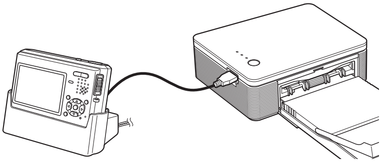
はじめに

本機でできること

お使いになる機器により、次の2つのプリント方法があります。

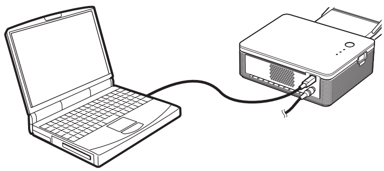
PictBridge対応のカメラからプリントする（PictBridgeモード）

PictBridge対応のデジタルカメラを本機につなぎ、カメラ側から操作してプリントを行う方法です。

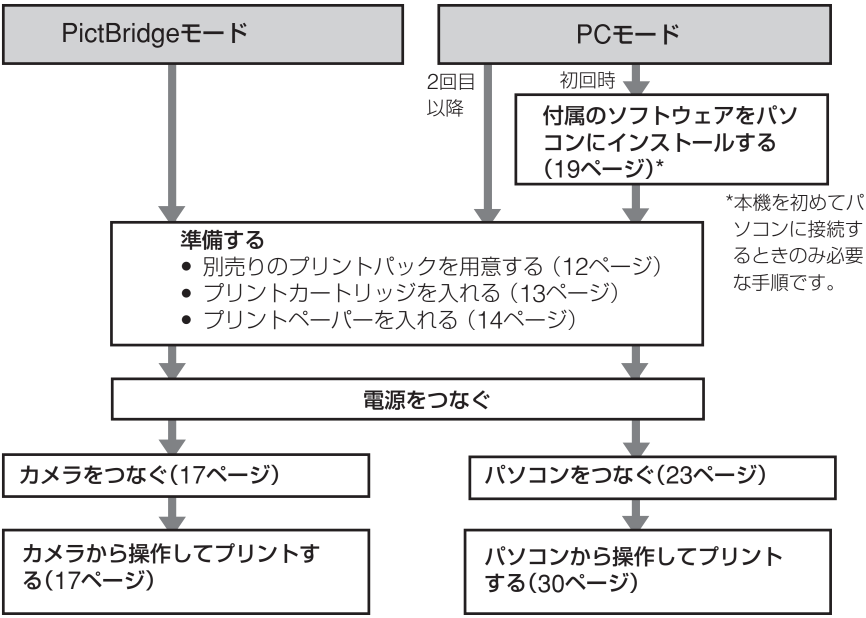


パソコンからプリントする（PCモード）

Windowsパソコンを本機につなぎ、パソコン側から操作してプリントを行う方法です。



主な操作の流れは、以下の通りです。



本機の特長

PictBridge[*1]対応
（17ページ）

PictBridge対応のデジタルカメラを本機につなぎ、カメラ側から操作して簡単にプリントすることができます。

簡単なUSB接続によりWindows PCに対応（19ページ）

本機とパソコンをUSB接続し、付属のソフトウェアをインストールすることにより、パソコンから操作してプリントすることができます。

スーパーコート2

プリントの高保存性を実現しています。また、耐水性、耐皮脂性にも優れています。

オートファインプリント3（PCモードのみ、33ページ）

画像を解析して、より自然で綺麗な画質に自動補正して印刷します。このときExif情報も使用します。

Exif[*2] 2.21（Exif Print）
（10、31、33ページ）

付属のPictureGear Studioソフトウェアを使い、パソコンから印刷する場合、通常のOSによる画像補正の他に、Exif Printによる補正を選ぶことができます。Exif Printによる補正では、プリンタードライバーが、プリンター独自の色変換やExifデータを使った画像処理を行い、さらに美しい印刷が可能です。

赤目補正などの補正機能（PCモードのみ、33ページ）

フラッシュをたいて撮影したために瞳が赤く写っている画像を補正します。また、明るさ、色あいなどの補正により、高画質の印刷を実現しています。

20枚連続プリント用ペーパートレイ（14ページ）

付属のペーパートレイで、20枚まで連続してプリントできます。

選べるプリントサイズ（12ページ）

ポストカードサイズとLサイズから用途に応じて選べます。

---

*1「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。PictBridge規格対応のデジタルカメラと本機を接続して、画像ファイルをプリントすることができます。

*2Exif Print はデジタルフォトプリントの世界標準規格です。Exif Printに対応したデジタルカメラでは、撮影条件に関する情報が画像データ と共に記録されます。本機はExif Printに対応しており、記録された画像の撮影条件を読み取ることで、自動的に撮影意図をより忠実に反映した高品位なプリントを実現します。

ここでは、本機をお使いになるために必要な準備について説明します。

1 付属品を確認する
（11ページ）

↓

2 プリントパックを用意する
（12ページ）

↓

3 プリントカートリッジを入れる
（13ページ）

↓

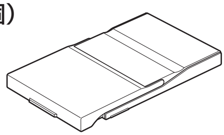
4 プリントペーパーを入れる
（14ページ）

本機の準備ができたら、それぞれのモードの説明をお読みになり、プリントを行ってください。

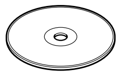
1 付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

ペーパートレイ（1個）

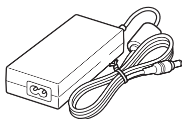


CD-ROM（1枚）

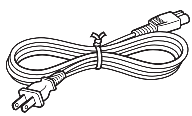


– Sony DPP-FP30 Printer Driver Software for Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professional、Windows® Millenium Edition、Windows® 98 Second Edition
– PictureGear Studio V.2.0

ACアダプター（1個）



電源コード*（1本）

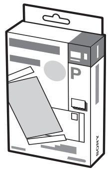


*付属の電源コードはAC100V専用です。

- カラープリントパック（1パック）
- 取扱説明書（1部）
- ご愛用者アンケート（1部）
- 保証書（1部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1部）
- ソフトウェア使用許諾契約書　（１部）

2 プリントパックを用意する

プリントするためには、プリントパックが必要です。別売りの専用プリントパックを用意してください。



プリントパックには、プリントカートリッジ1巻とプリントペーパーが入っています。

プリントペーパーのサイズ

プリントペーパーには次の2通りのサイズがあります。

- **ポストカードサイズ**（101.6 x 184.4ミリ）
- **Lサイズ**（89 x 159ミリ）

本機で使用できるプリントパック

プリントしたいサイズによって以下のプリントパックからお選びください。

ポストカードサイズ➡SVM-F40P

- ポストカードサイズフォトペーパー20枚入り2パック
- 40枚用プリントカートリッジ1巻

Lサイズ➡SVM-F40L

- Lサイズフォトペーパー20枚入り2パック
- 40枚用プリントカートリッジ1巻

プリントパックは、「ソニー製品お取り扱いのお店」または「Sony Style」（http://www.jp.sonystyle.com）でお買い求めいただけます。

プリントパック使用上のご注意

- プリントカートリッジとプリントペーパーは同じ箱に入っているものをセットでお使いください。セットでご使用にならないと、プリントできないことがあります。
- プリントペーパーは、印刷のない面がプリント面です。プリント面に指紋やほこりが付着しますと、きれいにプリントできないことがありますので、プリント面に手を触れないように注意してお取り扱いください。
- **プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。**
- **プリンター故障の原因になりますので、一度使用したプリントペーパーでプリントしたり、リボンを巻き戻してプリントしないでください。**
- プリントカートリッジは分解しないでください。

プリントパック保存時のご注意（きれいなプリントのために）

- 使用途中で本体から取り出して長期保存する場合は、ほこりが付かないように製品の入っていた袋などに入れて保存してください。
- 温度の高いところ（30℃以上）、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 製造後2年以内のご使用をお勧めします。

プリント面保存上のご注意

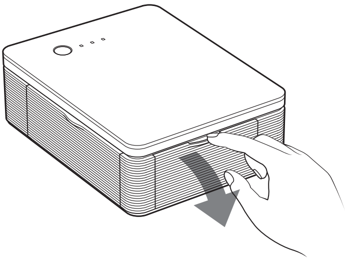
- プリント面の表面に、可塑剤を含むプラスチック消しゴムやデスクマットなどを長時間触れさせると変退色することがあります。

その他のご注意

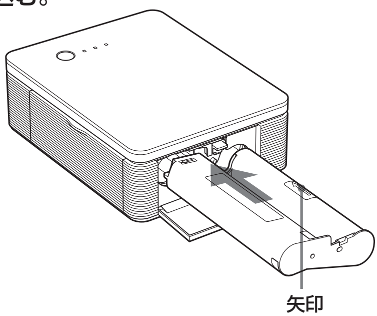
- あなたがプリントしたものは、個人として楽しむ場合などを除いて、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

3 プリントカートリッジを入れる

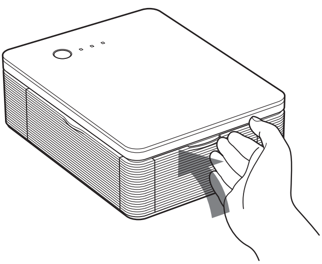
1 カートリッジカバー手前に開ける。



2 プリントカートリッジを矢印の方向にカチッとロックするまで奥へ差し込む。

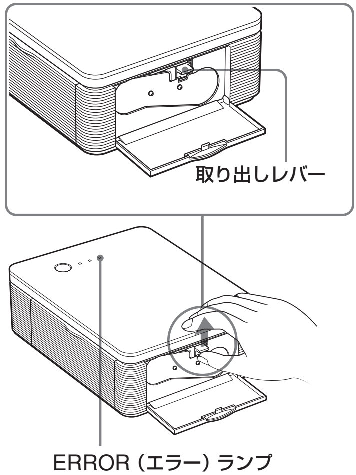


3 カートリッジカバーを閉める。



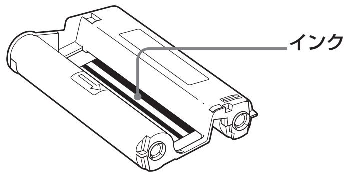
プリントカートリッジを取り出すには

プリントカートリッジを使い切ると、ERROR（エラー）ランプがゆっくり点滅します。カートリッジカバーを開け、緑色の取り出しレバーを上に押して、プリントカートリッジを取り出します。



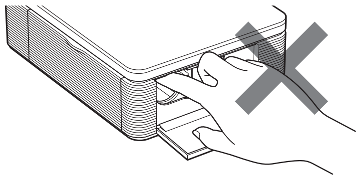
ご注意

- プリントペーパーと同じ箱に入っているプリントカートリッジを使用してください。
- プリントカートリッジのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。

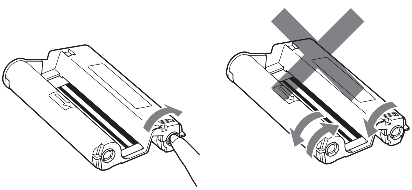


次のページにつづく

- 熱くなっていることがありますので、カートリッジカバーの内部に手を入れないでください。



- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られないばかりか故障の原因になります。
- プリントカートリッジがうまく入らないときは、いったんプリントカートリッジを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのスプールを矢印の方向に押しながら回してリボンのたるみを取ってください。



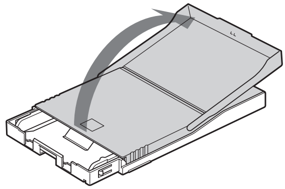
- プリント中はプリントカートリッジを取り出さないでください。

保存上のご注意

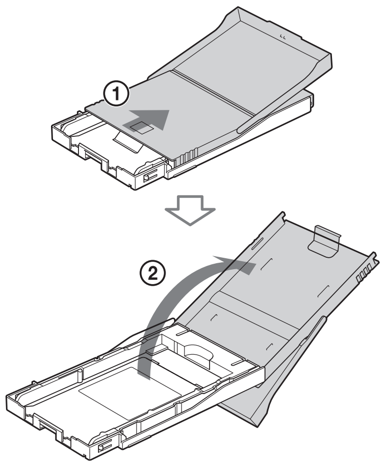
- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用途中で本体から取り出して保存する場合は、プリントカートリッジの入っていた袋などに入れて保存してください。

4 プリントペーパーを入れる

1 排紙トレイを開ける。



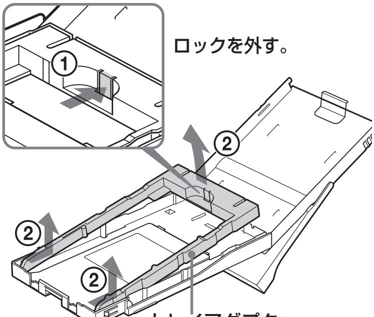
2 ペーパートレイカバーを給紙方向と逆の方向にスライドさせてから（①）、上に開ける（②）。



3 お使いになるペーパーのサイズに合わせてトレイアダプターをセットする。

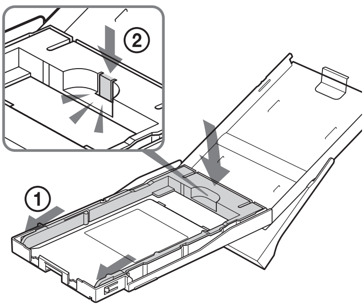
■ ポストカードサイズの場合

ペーパートレイとトレイアダプターの後部をつまんでアダプターのロックを外し（①）、トレイアダプターを上に持ち上げて外します（②）。



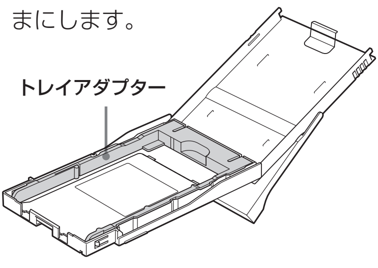
トレイアダプターを取り付けるには

トレイアダプターのツメをトレイ先端の穴に合わせて（①）、アダプター後部のツメがロックする位置まで下ろします（②）。



■ Lサイズの場合

トレイアダプターは取り付けたままにします。

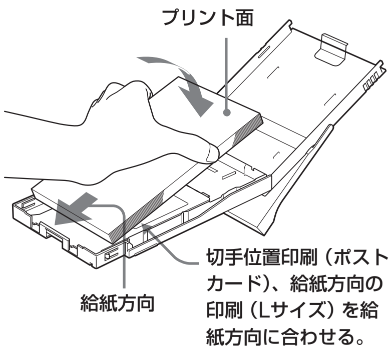


4 ペーパーをトレイに入れる。

ペーパーをよくさばいてから、ペーパーのプリント面（何も印刷されていない面）を上にしてセットします。

- ポストカードサイズの場合: ペーパー裏面の切手位置の印刷を、給紙方向に合わせて入れます。
- Lサイズの場合：裏面の給紙方向の印刷の向きを給紙方向に合わせて入れます。

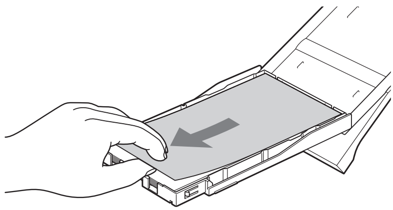
保護シートごとトレイに入れます。20枚まで入れられます。



ご注意

プリント面(何も印刷されていないつやのある面)には触れないようにしてください。

5 保護シートを抜き取る。

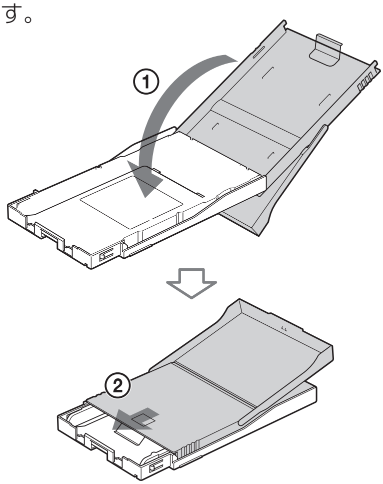


次のページにつづく

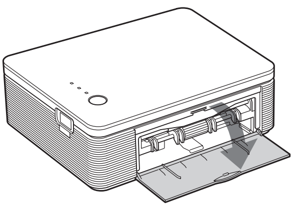
準備する

6 ペーパートレイカバーを閉めて（①）、給紙方向にスライドさせる（②）。

排紙トレイは開いたままにしておきます。

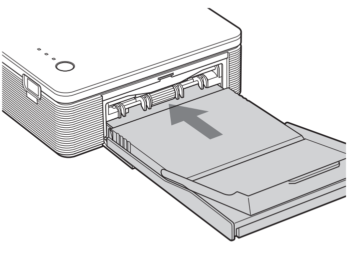


7 ペーパートレイ挿入ドアを手前に開ける。



8 トレイを本機に差し込む。

固定するまでしっかりと奥まで差し込んでください。



ご注意

- プリント中は、ペーパートレイは抜かないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - −字を書かない。（プリント後に油性ペンで記入してください。ワープロは使えません。）
  - −切手やシールを貼らない。
  - −折ったり曲げたりしない。
  - −プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が20枚を超えないようにする。
  - −違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - −一度使用したプリントペーパーでプリントしない。（同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。）
  - −指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - −一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない。

保存上のご注意

- プリント面どうしを重ね合わせて保存したり、プリント面を塩化ビニールや可塑剤が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変色または退色することがあります。
- 温度や湿度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところでの保存は避けてください。
- 使用途中で本体から取り出して保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋などに入れて保存してください。

カメラから操作してプリントする

本機とPictBridge対応のデジタルカメラをつなぎ、デジタルカメラ側で操作しながらプリント操作ができます。

1 PictBridge対応のデジタルカメラを、PictBridge対応プリンターとの接続モードに設定する。

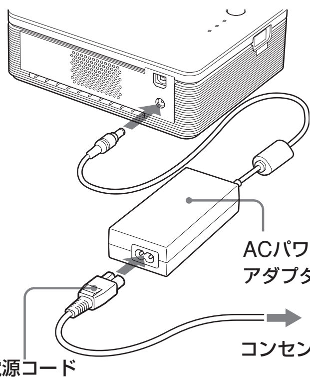
接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラによって異なります。デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

DSC-T1をお使いの場合は、DSC-T1のソフトウェアのバージョンのアップデートが必要です。詳しい情報は、www.sony.co.jp/support-di/にてご案内しております。

2 AC電源をつなぐ。

①電源コードのプラグをACアダプターに差し込む。
②電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
③ACアダプターのプラグを、本機のDC IN端子に差し込む。
STANDBYランプが赤く点灯します。

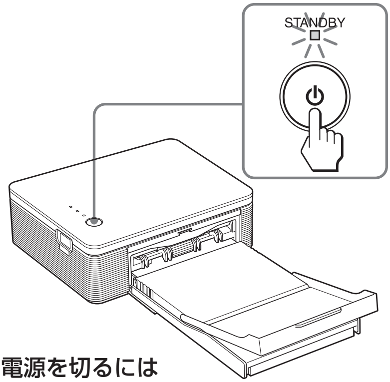


ご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。
  使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子と壁のコンセントから取り外してください。
- プリント中、プリントペーパーが何度か排紙口から出てきます。 ACアダプターや電源コードで排紙口をふさがないようにご注意ください。

3 本機のSTANDBYボタンを押して電源を入れる。

STANDBYランプが緑に点灯します。



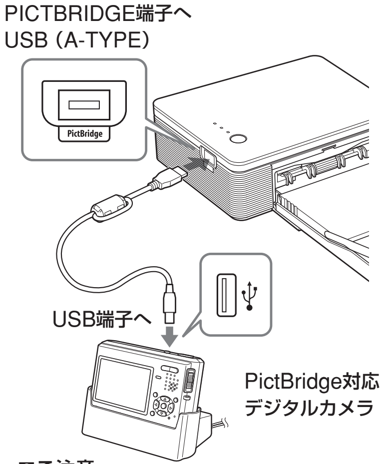
電源を切るには

STANDBYランプが赤く点灯するまで、STANDBYボタンを1秒以上押し続けます。

4 本機をPictBridge対応のデジタルカメラにつなぐ。

デジタルカメラに付属のUSBケーブルでデジタルカメラと本機のPICTBRIDGE端子を接続します。

次のページにつづく

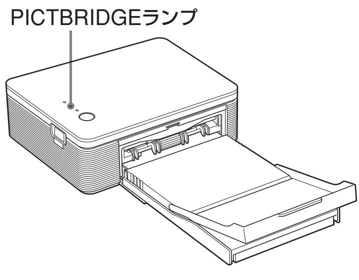


ご注意

- パソコンとPictBridge対応のデジタルカメラは同時に接続できません。デジタルカメラからプリントする場合は、パソコンとは接続しないでください。
- PICTBRIDGE端子はPictBridge機器専用です。PictBridge対応のデジタルカメラ以外は接続しないでください。
- 接続に必要なUSBケーブルは、お使いになるデジタルカメラのUSB端子のタイプによって異なります。本機側のプラグが、A-TYPEのUSBケーブルをお使いください。
- 市販のUSBケーブルをお使いになる場合は、長さ3m未満のA TYPEのUSBケーブルをお使いください。

本機のPICTBRIDGE端子にPictBridge対応のデジタルカメラを接続すると

本機は自動的にPictBridgeモードになり、PICTBRIDGEランプが緑色に点灯します。



5 デジタルカメラ側から操作してプリントを行う。

本機では、以下のプリントモードに対応しています。

- シングル画像のプリント
- ALLプリント

ご注意

- デジタルカメラと接続している間にプリントカートリッジを入れ換えた場合は、正常にプリントされないことがあります。もう一度デジタルカメラの用紙サイズ設定を行うか、接続しなおしてください。
- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。プリントカートリッジが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、ペーパートレイを装着したまま電源を入れなおし、プリント途中のペーパーが残っている場合は、ペーパーを取り除いてから、操作を手順1からやり直してください。
- プリント中はプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでくさい。
- プリント時、本機後面のスペースはなるべく広くとるようにしてください。
- 連続プリント中にプリントペーパーがなくなった場合、またはペーパートレイにプリントペーパーが入っていない状態でプリントした場合は、本機のERRORランプが点灯します。そのまま電源を切らずにプリントペーパーを補充して、プリントを再開してください。

PICTBRIDGEランプの状態について

PICTBRIDGEランプは、本機とデジタルカメラ間の通信状況を以下のように示しています。

- PICTBRIDGEランプ点灯
  PictBridge対応のデジタルカメラ間との通信が確立された状態です。
- PICTBRIDGEランプ点滅
  – PictBridgeに対応していない機器が接続されています。
  – プリントしようとした画像ファイルが壊れています。

本機とパソコン（Windows PC）をつなぎ、付属のソフトウェアをパソコンにインストールすると、パソコンの画像をプリントできます（PCモード）。ここでは、付属のプリンタードライバーとソフトウェアPictureGear Studioのインストール方法、パソコンと本機との接続方法、PictureGear Studioを使ったプリント方法について説明します。パソコンのマニュアルもご覧ください。
なお、付属のソフトウェアのインストールは、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

PictureGear Studioの商標、著作権について

- 各種デザイン素材の著作権について

  このソフトウェアに含まれるデザインの著作権はソニー株式会社あるいは株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズにあり、商用に使用することは著作権法上禁止されております。
- 写真などの著作権物は個人的、またはこれに準ずる限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁じられています。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをインストールする

必要なシステム構成

付属のプリンタードライバーとソフトウェアPictureGear Studioをお使いになるには、以下の動作環境を満たしたパソコンが必要です。

OS: Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® 2000 Professional/Windows® Millenium Edition/Windows® 98 Second Editionを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。(日本語版のみ)
（Windows 95、Windows 98 Gold Edition、Windows NT、Windows 2000のその他のバージョン（Server、Personalなど）では動作保証いたしません。）

CPU： Pentium III 500MHz以上

RAM： 128MB以上
(Pentium III 800MHz 以上、256MB以上を推奨)

次のページにつづく

ハードディスクの空き容量：

200MB 以上（Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また写真データを扱うための領域がさらに必要です。）

ディスプレイの設定について：

画面の解像度: 800x600 ピクセル以上

画面の色：High Color (16 ビット) 以上

付属のCD-ROMについて

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアのインストーラーが入っています。

- DPP-FP30プリンタードライバー
  DPP-FP30について記述したドライバーソフトウェアで、DPP-FP30を使ってパソコンからプリントできるようになります。
- PictureGear Studio（ピクチャーギア・スタジオ）
  静止画の取り込みから、管理・加工・出力までを一括して行えるソニーオリジナルソフトウェアです。

ご注意

- 1台のパソコンに複数のUSB接続（他のプリンターを含めて）をした場合、またはハブを使用している場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化して使用してください。
- 同時に使用するUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中やプリント中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリントが正常にできません。
- 本機はパソコンのサスペンド、およびハイバネーションモードには対応していません。印刷中にお使いのパソコンを上記モードに切り換えないでください。
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

プリンタードライバーをインストールする

1 まだパソコンと本機は接続しないでください。

ご注意

この段階でパソコンと本機を接続すると下記の画面が表示されます。

- Win98SE/Meの場合：新しいハードウェアの追加ウィザード
- Win2000/XPの場合：新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

その場合は、接続をいったん外してから[キャンセル]をクリックしてください。

2 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、「Administrator」（管理者権限）または「Power user」（標準ユーザー権限）でログオンしてください。
- Windows XP Home Edition/XP Professionalをお使いの場合は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

ご注意

- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows XP Professionalでの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

ご注意

CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてください。

4 [プリンタードライバーのインストール] をクリックする。



「Sony DPP-FP30 セットアップへようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

5 [次へ] をクリックする。

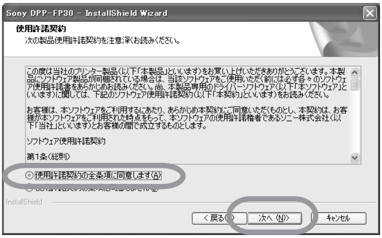


「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

次のページにつづく

6 **内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。**

［使用許諾契約の条項に同意しません］を選択した場合、インストールできません。



「インストール準備の完了」ダイアログボックスが表示されます。

7 **［インストール］をクリックする。**



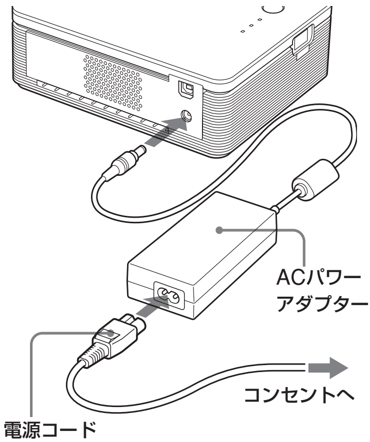
「プリンターの接続」ダイアログボックスが表示されます。

8 **本機をAC電源につなぐ。**

①電源コードのプラグをACアダプターに差し込む。

②電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ACアダプターのプラグを、本機のDC IN端子に差し込む。
STANDBYランプが赤く点灯します。

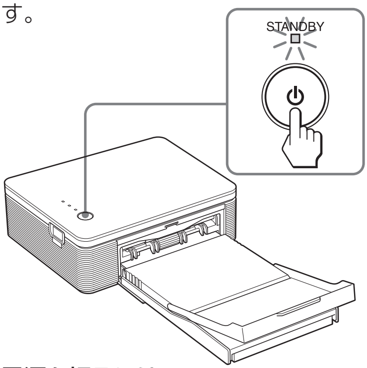


ご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。
  使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子と壁のコンセントから取り外してください。
- プリント中、プリントペーパーが何度か排紙口から出てきます。 ACアダプターや電源コードで排紙口をふさがないようにご注意ください。

9 本機のSTANDBYボタンを押して電源を入れる。

STANDBYランプが緑に点灯します。

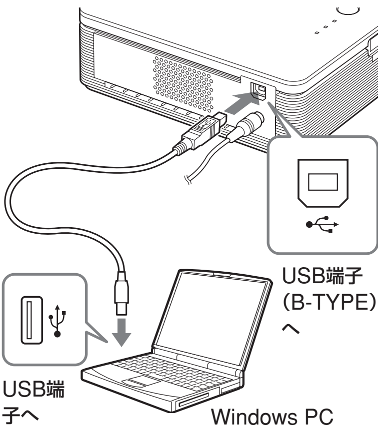


電源を切るには

STANDBYランプが赤く点灯するまで、STANDBYボタンを1秒以上押し続けます。

10 パソコンと本機をUSBケーブルで接続する。

本機とパソコン（Windows PC）のUSB端子を、市販のUSBケーブルで接続します。



ご注意

接続には、市販の長さ3m未満のA-B TYPEのUSB対応のUSBケーブルをお使いください。ただし、パソコンによっては異なる場合がありますのでお使いのパソコンをご確認ください。

11 ［次へ］をクリックする。



本機は自動的にPCモードになり、自動的にインストールが開始され、「InstallShield Wizardの完了」ダイアログボックスが表示されます。

12 ［完了］をクリックする。



パソコンからプリントする（PCモード）

次のページにつづく

インストールが完了しました。
コンピュータの再起動を要求されることがあります。その場合は、お使いのOSの指示に従ってコンピュータの再起動を行ってください。

13 **• インストールを終了する場合は、[終了］をクリックし、CD-ROMをパソコンから取り出し保管する。**

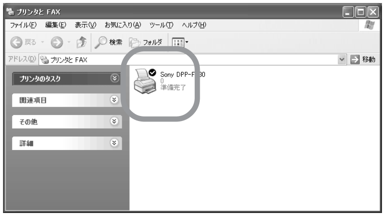
• 引き続きPicutreGear Studioをインストールする場合は、［PicutreGear Studioのインストール］をクリックし、27ページ手順3以降にしたがって操作する。

ご注意

- インストールの途中でプリンタードライバーのCD-ROMを要求された場合は、下記の場所を指定してください。
  －Windowｓ98SE/Me:「D:/Driver/win98.me」
  －Windows2000/XP:「D:/Driver/win2000.xp」
  「D:」はご使用のコンピュータのCD-ROMドライブ名に置き換えてください。
- インストールがうまくいかない場合は、本機をパソコンから外して、パソコンを再起動してから、手順3からやり直してください。
- インストール後、「Sony DPP-FP30」は通常使うプリンターには設定されていません。お使いになるアプリケーションソフトでそれぞれ設定を行ってください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- 本機をお使いになる前に、Readmeファイル（CD-ROM内のReadmeフォルダ➔Japaneseフォルダ➔Readme.txt）を良くお読みください。

インストールを確認するには

［コントロールパネル］から［プリンタとFAX］（Windows XP Home Edition/XP Professionalのみ）または［プリンタ］を開き、「Sony DPP-FP30」が表示されていれば、正常にインストールされています。



プリンタードライバーをアンインストールする

プリンタードライバーが不要になった場合は、次の手順で、アンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 **本機とパソコンのUSBケーブルを外す。**

2 **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

ご注意

CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてください 。

3 **[プリンタードライバーのインストール] をクリックする。**



「Sony DPP-FP30 セットアップへようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

4 **[次へ] をクリックする。**



「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

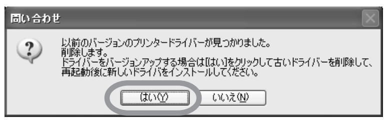
5 **[使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックし、[次へ] をクリックする。**

[使用許諾契約の条項に同意しません] を選択した場合、アンインストールできません。



削除確認のダイアログボックスが表示されます。

6 **[はい] をクリックする。**

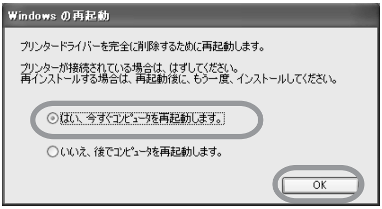


再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

パソコンからプリントする（PCモード）

次のページにつづく

7 **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] をチェックして、[OK]をクリックする。**



再起動後、関連のファイルは削除され、アンインストール完了です。

アンインストールを確認する

[コントロールパネル] から [プリンタとFAX] (Windows XP Home Edition/XPProfessionalのみ) または [プリンタ] を開き、「Sony DPP-FP30」の表示がなければ、正常にアンインストールされています。

PictureGear Studioをインストールする

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、「Administrator」(管理者権限) または「Power user」(標準ユーザー権限) でログオンしてください。
- Windows XP Home Edition/XP Professionalをお使いの場合は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

ご注意

- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows XP Professionalでの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

2 **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

ご注意

- CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてくだい。
- PicutreGear Studio Ver.2.0のインストール時、コンピュータの環境によっては、Microsoft　Data Access Component 2.7とJet1.0のインストールが必要な場合があります。これらは自動的に検出されますので画面の手順に従ってインストールを行ってください。

3 **［PictureGear Studioのインストール］をクリックする。**



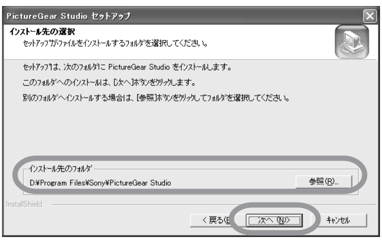
PictureGear Studioのインストールウィザードが起動します。

4 **［次へ］をクリックする。**



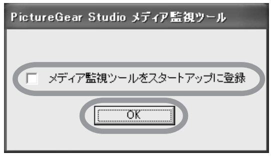
「インストール先の選択」ダイアログボックスが表示されます。

5 **インストール先を確認し、[次へ]をクリックする。**



「PictureGear Studio メディア監視ツール」ダイアログボックスが表示されます。

6 **「メディア監視ツール」を登録する場合は、［メディア監視ツールをスタートアップに登録］のチェックボックスをチェックして、［OK］をクリックする。**



「ウィザードの完了」ダイアログボックスが表示されます。

「PictureGear Studioメディア監視ツール」とは？

PictureGear Studioメディア監視ツールは、Windows XP以外のオペレーティングシステムが搭載されているコンピュータにPictureGear Studioをインストールしている場合に、写真が保存されている機器やメディアのコンピュータへの挿入を検出するプログラムです。

インストール時の設定は、下記の手順で変更することができます。

1 PictureGear Studioインストール後に、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］－［PictureGear Studio］－［ツール］－［メディア監視ツール］をクリックして、PictureGear Studioメディア監視ツールを起動します。

次のページにつづく

2 タスクバーのPictureGear Studioメディア監視ツールのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［設定］をクリックします。

3 ［メディア監視ツールをログオン時に自動的に起動する］の設定を変更します。登録したい場合は、チェックを付け、登録を取消したい場合はチェックをはずします。

7 Readmeファイルを確認するには、［Readmeファイルを確認します。］にチェックを付けて、［完了］をクリックする。



- ［Readmeファイルを確認します。］にチェックを付けた場合は、Readmeファイルが表示されます。Readmeファイルのウィンドウを閉じると、自動的にPictureGear Studioのインストール画面も閉じます。
- ［Readmeファイルを確認します。］にチェックを付けなかった場合は、PictureGear Studioのインストール画面が閉じます。

8 付属のCD-ROMをパソコンから取り出し保管する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、手順2からやり直してください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- Sony DPP-FP30付属のPitureGear Studioでは、下記の制限があります。
  - 「フォトコレクション」では、「ソニー」以外の「用紙」への印刷はできません。
  - 「プリントスタジオ」での「ラベル」の作成および印刷はできません。
  - 「プリントスタジオ」での「シール・名刺・カード」の作成および印刷はできません。
  - 「プリントスタジオ」での「はがき」の一部のデザイン印刷はできません。

  上記の制限をなくして、VAIOやCLIEバンドルのバージョンと同等にするには、CD-ROM内の「pgs.add」フォルダーの「Setup(.exe)」を実行してください。

PictureGear Studioをアンインストールする

PictureGear Studioが不要になった場合は、次の手順で、アンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 **本機とパソコンのUSBケーブルを外す。**

2 **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

ご注意

CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてください 。

3 **[PictureGear Studioのインストール] をクリックする。**



削除確認のダイアログボックスが表示されます。

4 **[はい]をクリックする。**



関連のファイルが削除されます。

5 **[完了]をクリックする。**



コントロールパネルからもPictureGear Studioをアンインストールをすることができます。

[コントロールパネル]から[アプリケーションの追加と削除] を開き、PictureGear Studioを選び、削除します。

PictureGear Studioから写真をプリントする

PictureGear Studioを使って、パソコンからポストカードサイズまたはＬサイズのプリントペーパーにプリントできます。

1 **Windowsの［スタート］メニューの［プログラム］(または［すべてのプログラム］) から、[PictureGear Studio］を起動する。**

「PictureGear Studio」ダイアログボックスが表示されます。

2 **［写真を管理する］をクリックする。**



「フォトコレクション」ダイアログボックスが表示されます。

3 **プリントしたい画像の入っているフォルダをクリックする。**

ここでは「サンプル」フォルダを使って説明します。



4 **［焼き増し］をクリックする。**

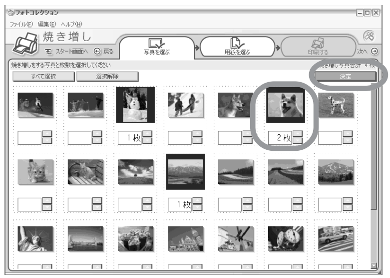
ご注意

ポップアップメニューが表示される場合は、［プリンタで印刷する(P)］を選択してください。



「焼き増し」ダイアログボックスが表示されます。

5 **プリントしたい写真を選択し、枚数を指定してから［決定］をクリックする。**

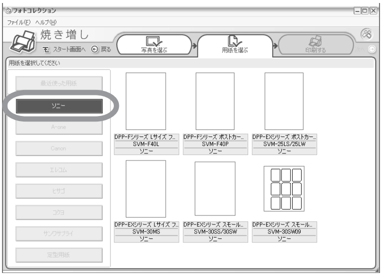


「用紙を選ぶ」ダイアログボックスが表示されます。

ご注意

枚数の設定はこの画面で行ってください。プリンタードライバーの［用紙/出力］タブ画面で指定してもプリント枚数に反映されません。

6 **[ソニー]を選び、お使いになるFシリーズの用紙サイズと同じものを選択する。**



- ポストカードサイズ（SVM-F40P DPP-Fシリーズ）
- Lサイズ（SVM-F40L DPP-Fシリーズ）

ご注意

- DPP-Fシリーズ以外の用紙を選択した場合、正常なプリント結果が得られません。
- 同梱のカラープリントパックを使用する場合は、Lサイズ(SVM-F40L DPP-Fシリーズ)を選択してください。

用紙を選ぶと、「印刷する」ダイアログボックスが表示されます。

7 **［プリンター］ドロップダウンリストから［Sony DPP-FP30］を選び、[詳細設定]をクリックする。**

実際にお使いになっているプリンターを選択してください。

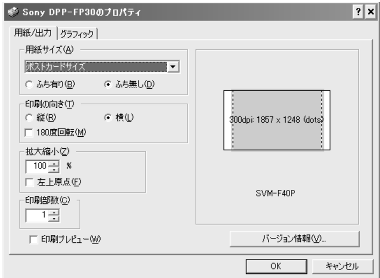


項目	設定内容
全ページを印刷	「写真を選ぶ」ダイアログボックスで設定した画像すべてを印刷します。
現在表示中のページを印刷	印刷プレビューに表示されている画像を印刷します。
プリンタ	［DPP-FP30］を選択してください。
ふちなし印刷をする	● チェックを付けた場合：画像の周りに余白を残さずプリントします。 ● チェックをはずした場合：画像の周りに余白を残してプリントします。
Exif Printで印刷をする	● チェックを付けた場合：Exif Print(Exif2.21)規格対応のデジタルカメラで撮影された画像は、自動的に最適な画像に調整されてプリントされます。 **ご注意** 画面に表示される画像は補正されません。 ● チェックをはずした場合：画像を補正せずにそのままプリントします。
詳細設定	プリント方向や、画質設定など詳細の設定を行います。

次のページにつづく

［詳細設定］をクリックすると、選択したプリンターのプロパティ画面が表示されます。

8 **［用紙/出力］タブで、用紙サイズなどを設定する。**



［用紙/出力］タブ

項目	**設定内容**
用紙サイズ	ドロップダウンリストから用紙サイズを選びます。 • **ポストカードサイズ** • **Lサイズ** いずれかにチェックを付け、ふちの有無を選びます。 • **ふち有り**：画像の周りに余白を残さずプリントします。 • **ふち無し**：画像の周りに余白を残してプリントします。
印刷の向き	画像に合わせて印刷の向きを選びます。 • **縦** • **横** • **180度回転** **ご注意** お使いになるアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果となる場合があります。
印刷部数	矢印ボタンをクリックするか、または数値を入力し、印刷する枚数を設定します。 **ご注意** お使いになるアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。
拡大縮小	矢印ボタンをクリックするか、または数値を入力し、画像の拡大縮小率の設定をします。 ［左上原点］チェックボックスで拡大、縮小時の原点を設定することができます。 • チェックをはずした場合：用紙の中心を原点にして画像を拡大、縮小します。通常はチェックははずしてお使いください。 • チェックを付けた場合：用紙の左上を原点にして拡大、縮小します。お使いのアプリケーションソフトによってはチェックが必要になる場合があります。チェックをはずすと正常なプリント結果が得られない場合にはチェックしてください。
印刷プレビュー	印刷を行う前にプレビュー表示を行う場合にチェックを付けます。

9 ［グラフィック］タブで画質を設定する。



［グラフィック］タブ

項目	設定内容
色再現/画質	左のドロップダウンリストから色再現、画質を選びます。 • **なし**：画像を補正せずにそのままプリントします。 • **オートファインプリント3**：右の［設定］から次のいずれかの補正方法を選びます。 － **写真**：画像を自動的に補正し、自然できれいにプリントします。（推奨） － **鮮やか**：画像を自動的に補正し、［写真］モードよりもさらに鮮やかにプリントします。 • **ICM(システム)**:右の［設定］から次のいずれかの補正方法を選びます。 －**グラフィック**：グラフや鮮やかな色を使用している場合 － **一致**：なるべく色を合わせたい場合 － **写真**：写真や絵を印刷する場合 **ご注意** ICMの設定は、ICMに対応しているアプリケーションソフトにのみ対応しています。対応していないアプリケーションソフトから印刷した場合、色が正しくないことがあります。
Exif Print	Exif Print(Exif2.21)規格対応のデジタルカメラで撮影された画像の場合、プリンタードライバーがプリンター独自の色変換やExifの撮影情報を利用した画像処理を行います。この機能はPicutreGear Studioでのみ有効です
赤目の補正	フラッシュをたいて撮影した画像で、被写体の目が赤く写っているのを自動補正することができます。 **ご注意** • 赤目の補正を行う場合は、［用紙/出力］タブで［印刷プレビュー］にチェックを付け、印刷前に必ず補正が完了しているかどうか確認を行ってください。

次のページにつづく

- 赤目の検知は自動的に行われるため、補正できない場合もあります。補正ができない場合は、PicutureGear Studioの補正機能をお試しください。
- ［赤目の補正］は付属のCD-ROMの「Setup.exe」からインストールした場合のみ利用可能になります。詳しくはReadmeファイルをご覧ください。

プリンタ画質

スライダーをドラッグするか数値を入力して、プリントの色あいとシャープネスを調整します。

- **赤**：赤と水色の成分を調整します。値を大きくするとと赤味が増し、値を小さくすると暗くなり水色を加えたようになります。
- **緑**：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると緑味が増し、値を小さくすると暗くなり赤紫色を加えたようになります。
- **青**：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると青味が増します。値を小さくすると暗くなり黄色を加えたように青味が落ちます。
- **シャープネス**：値を大きくすると、輪郭がくっきりします。

10 [OK]をクリックします。

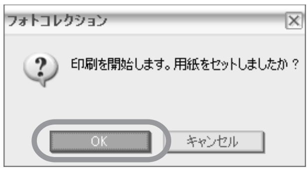
「印刷する」ダイアログボックスが再び表示されます。

11 ［全ページを印刷］または［現在表示中のページを印刷］をクリックする。



印刷の確認画面が表示されます。

12 手順6で選んだプリントペーパーとプリントカートリッジがセットされていることを確認して、［OK］をクリックする。

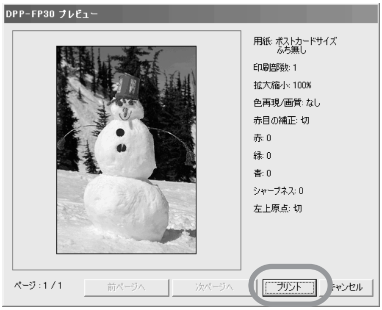


印刷の準備が開始します。



手順8で［印刷プレビュー］をチェックしていたときは

プレビュー画面が表示されます。補正結果などを確認し、［プリント］をクリックします。



印刷が開始します。

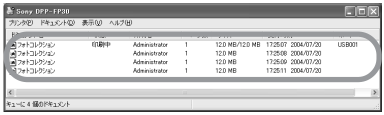
ご注意

- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。プリントカートリッジが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、再び電源を入れ、操作を手順1からやり直してください。
- プリント中はプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでください。
- プリント時、本機後面のスペースはなるべく広くとるようにしてください。
- 連続プリント中にプリントペーパーがなくなった場合、またはペーパートレイにプリントペーパーが入っていない状態でプリントした場合は、本機のERRORランプが点灯します。そのまま電源を切らずにプリントペーパーを補充して、プリントを再開してください。

印刷を中止するには

1 **タスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックして、プリンタダイアログボックスを開く。**

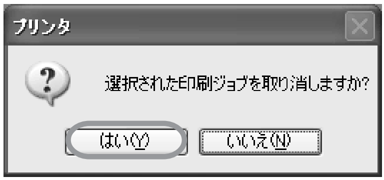
2 **キャンセルしたいドキュメント名をクリックし、メニューの［ドキュメント］－［キャンセル］を選択する。**



削除確認ダイアログボックスが表示されます。

3 **[はい]をクリックする。**

印刷ジョブが取り消されます。



ご注意

印刷中のジョブは削除しないでください。
紙づまりの原因になることがあります。

市販のアプリケーションソフトからプリントするには

「印刷」画面の［プリンター］の項目で［DPP-FP30］を選択し、ページ設定で用紙の選択などの設定を行うことによって、市販のアプリケーションソフトからもプリントできます。

ページ設定画面の詳細については、「PictureGear Studioから写真を印刷する」の手順8、9をご覧ください。

［用紙サイズ］の［ふちなし印刷をする］の設定について

PicutreGear Studio以外のアプリケーションソフトでは、「Sony DPP-FP30のプロパティ」の［用紙/出力］タグで［用紙サイズ］を［ふち無し］に設定しても、ふちありでプリントされてしまうことがあります。

この項目を有効に設定した場合、アプリケーションソフト側に、ふち無しで印刷できる範囲の情報が供給されますが、アプリケーションソフトによっては、その範囲でふちがつくようにレイアウトして印刷するものがあるためです。

この場合は、以下のいづれかの方法で印刷してください。

- 設定があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。
  たとえば、画像とFAXビューアーの印刷ウィザードの設定では、［フルページ写真プリント］を選択します。
- 「Sony DPP-FP30のプロパティ」の［用紙/出力］タブの［拡大縮小］の値を大きくします。
  [拡大縮小]の値を大きくしても用紙の右側と下側に余白が残る場合は、[左上原点]をチェックしてください。

どちらの方法でも、印刷前にプレビュー画像を表示して確認してください。

印刷の向きの設定について

お使いのアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果になる場合があります。

ふち有り、ふち無しの設定について

お使いのアプリケーションソフトにふち有り、ふち無しの設定がある場合、プリンタードライバーは「ふち無し」に設定することをお勧めします。

印刷枚数の設定について

使用するアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

［グラフィック］タブの設定について

［色再現/画質］の［Exif Print］項目は、PictureGear Studioのみに対応しています。この項目を設定し、他のアプリケーションソフトから印刷した場合、色が正しくないことがあります。その場合は、チェックを外してください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグが正しく差し込んでありますか? • ACアダプターは正しく接続されていますか?	→ 電源コードの一方のプラグをACアダプターに、もう一方のプラグを壁のコンセントに差し込み、ACアダプターのプラグを本機のDC IN端子にきちんと差し込んでください。(→17、22ページ)。
電源が切れない。		→ STANDBYランプが赤く点灯するまで、STANDBYボタンを1秒以上押し続けてください。

デジタルカメラとの接続

症状	チェック項目	対処方法
本機のPICTBRIDGEランプが点灯しない。	• ケーブルが正しく接続されていますか?	→ ケーブルを正しく接続してください。
	• 本機の電源は入っていますか?	→ 本機の電源を入れてください。
	• お使いのカメラのファームウェアが本機に対応していますか?	→ お使いのデジタルカメラのホームページなどでご確認ください。
	• 本機のPICTBRIDGEランプが点滅していませんか?	→ USBマウスなどPictBridgeに対応していない機器が接続されている場合は、PictBridge対応のデジタルカメラなどを接続してください → デジタルカメラと接続しなおすか、カメラと本機の電源を入れなおしてください。
	• プリント中ではありませんか?	→ プリントが終了してから、再度ケーブルを挿入してください。
	• パソコンと接続中ではありませんか?	→ パソコンとPictBridge対応のデジタルカメラは同時に接続できません。USB端子からパソコンのケーブルを抜いて、カメラを再接続してください。
デジタルカメラにエラーが表示されプリントできない。	• プリントカートリッジの種類とプリントペーパーの種類は一致していますか?	→ プリントカートリッジと同じ種類のプリントペーパーを入れてください。プリントカートリッジの種類を変えたい場合は、いったんプリントを中止し、プリントカートリッジを取り替えてから再度プリントしてください。
DPOFプリントができない。		→ お使いのデジタルカメラによっては、DPOFプリントができない場合があります。DPOFプリント以外の方法でプリントしてください。
日付プリントができない。		→ 本機は日付プリントには対応しておりません。お使いのデジタルカメラによっては、日付プリント設定が可能ですが、設定を有効にしても日付はプリントされません。

パソコンとの接続

症状	チェック項目	対処方法
ドライバCD-ROMを紛失したので入手したい。		➔ ソニーデジタルフォトプリンターホームページ（http://www.sony.co.jp/DPP/）からダウンロードしていただくか、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
ドライバーがインストールできない。	● 手順通りインストールされていますか?	➔ 取扱説明書の手順に従って、正しくインストールしてください。エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、コンピューターを再起動して再インストールしてください。
	● 他のアプリケーションソフトを起動していませんか?	➔ 他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。
	● インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていますか?	➔ マイコンピュータをダブルクリックして、開いたウィンドウにあるCD-ROMアイコンをダブルクリックします。以降の操作は、本書21ページをご覧ください。
	● USBドライバーが正しくインストールされていますか?	➔ USBドライバーが正しくインストールされていないことがあります。もう一度、取扱説明書に従ってインストールしてください。
	● エクスプローラでCD-ROMが正しく読めますか?	➔ インストール用CD-ROMに異常がある場合、エクスプローラでCD-ROMが正しく読めるか確認してください。パソコンにエラー内容などが表示されましたら、そのエラーの原因を取り除き再度プリンタードライバーのインストールを行ってください。パソコンのエラー内容につきましては、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。
	● ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがありませんか?	➔ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合、あらかじめ終了してください。終了した後、再度プリンタードライバーのインストールを行ってください
	● Windows XP/2000 Professional へ管理者権限のあるユーザーでログインされていますか?	➔ Windows XP/2000 Professional にインストールする場合、管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストール作業を行ってください。
パソコンから印刷実行指示をしても本機が反応しない。		➔ 本機のERROR（エラー）ランプが点灯•点滅していないか確認してください。点灯•点滅している場合、以下の操作を行ってみてください。これで直る場合があります。 1.本機の電源の切／入を行う。 2.本機の電源コンセントを抜く。 3.電源コンセントを抜いから5秒～10秒程度放置し、再度電源コンセントを入れる。 4.コンピューターを再起動する。 上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターまでご相談ください。

症状	チェック項目	対処方法
パソコンから印刷実行指示をしても本機が反応しない。	●『ドキュメントをUSBに出力するときエラーが見つかりました。』のエラーメッセージが表示される。	➔ いったんUSBケーブルを外してから、再度接続し直してください。
	● PictBridge対応デジタルカメラと接続中ではありませんか?	➔ パソコンとPictBridge対応デジタルカメラは同時に接続できません。PICTBRIDGE端子からのカメラのコネクターを抜いて、パソコンを再度接続してください。
ふち無しに設定しても、ふち付きでプリントされてしまう。	● PictureGear Studio以外のアプリケーションソフトをお使いですか?	➔ PicutreGear Studio以外のアプリケーションソフトでは、「ふち無しプリント」に設定しても、ふち有りにレイアウトして印刷するものがあります。以下のいずれかの設定をし、印刷前にプレビューを表示して確認してください。 －ふち有／無の設定項目があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定する。 －Sony DPP-FP30 プリンタードライバーのプロパティの［用紙/出力］タブの［拡大縮小］の値を大きくする（➔32ページ）。 －[拡大縮小]の値を大きくしても用紙の右側と左側に余白が残る場合は、[用紙/出力]タブの[左上原点]をチェックする。
色が正しくプリントされない。	● プロパティ画面の[グラフィック]タブで「Exif Print」がチェックされていませんか?	➔「Exif Print」機能はPictureGear Studioにだけ対応しています。PictureGear Studio以外のアプリケーションソフトから印刷する場合は、チェックを外してください。
	● プロパティ画面の[グラフィック]タブで[ICM]が設定されていませんか?	➔ ICMの設定は、ICMに対応しているアプリケーションソフトを使用しないと効果がないことがあります。お使いのアプリケーションソフトが対応しているかどうかご確認ください。
プロパティ画面の[グラフィック]タブのプリンタ画質で設定した値がプレビューに反映されない。		➔ プリンタ画質の設定では本機の調整を行うため、プレビュー上には反映されません。
ドライバーの[用紙/出力]タブの印刷部数で設定した枚数と印画結果が違う。	● PictureGear Studioをお使いですか?	➔ 枚数の設定はPictureGear Studioの焼き増し画面で行ってください。ドライバーの[用紙/出力]タブで指定しても反映されません。 ➔ 使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

プリントする

プリントペーパーをペーパートレイに入れてプリントを実行した際に、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙されるなどの症状が発生した場合は、「給紙されない」のチェック項目を確認してください。

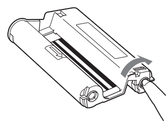
症状	チェック項目	対処方法
給紙されない。	● プリントペーパーはペーパートレイに正しく入っていますか?	→ プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。 ● 正しい組み合わせのプリントペーパーとプリントカートリッジが入っていますか?(→12ページ) ● 入っているプリントペーパーの量が多すぎませんか?(→15ページ) ● プリントペーパーのサイズに合わせてLサイズアダプターをセットしましたか?(→15ページ) ● プリントペーパーをよくさばきましたか? ● プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたりしていませんか? ● 連続プリント中にプリントペーパーがなくなった場合、またはペーパートレイにプリントペーパーが入っていない状態でプリントした場合は、本機のERRORランプが点灯します。そのまま電源を切らずにプリントペーパーを補充して、プリントを再開してください。
	● 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか?	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。(→ 14ページ)。
	● プリントペーパーがつまっていませんか?	→ プリントペーパーが給紙されない時は本機のERROR(エラー)ランプが速く点滅します。いったん本機からトレイを抜いてプリントペーパーがつまっていないか確認してください。
プリント中にプリントペーパーの端が出てくる。	● プリントの途中ではありませんか?	→ プリントの途中には、プリントペーパーが一時的に何度か出てきます。プリントペーパーが自動的に排出されるまで、触ったり、引っ張り出さないでください。また、プリント時、本機背面のスペースはなるべく広くとるようにしてください。

プリント結果

症状	チェック項目	対処方法
プリント画質が悪い。	● プレビュー画像データをプリントしていませんか?	➔ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、本画像データの他にプレビュー画像データが保存される場合があります。このプレビュー画像データなどをプリントした場合、プリント画質は本画像データをプリントしたときに比べ低下します。また、画像を消去する場合は、プレビュー画像データを削除すると本画像データが開けなくなる場合がありますので、データ内容について確認してください。
	● プリントカートリッジにゴミが付着していませんか	➔ プリントカートリッジのプラスチック部分を拭いてゴミを取り除いてください。
	● プリント面に埃や指紋などが付着していませんか?	➔ プリントペーパーの取扱い時、プリント面（何も印刷されていないつやのある面）には触れないようにしてください。プリント面に埃や指紋などが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
	● 一度使用したプリントペーパーやプリントカートリッジを使用していませんか?	➔ 一度使用したプリントペーパーまたは、プリントカートリッジでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならないばかりか、故障の原因になります。
	● DCF2.0に対応していないAdobeRGB対応のデジタルカメラを使って、AdobeRGBモードで撮影しませんでしたか?	➔ DCF2.0に準拠しているAdobeRGBの画像ファイルは、色補正を行いますが、DCF2.0に準拠していないAdobeRGBのファイルを印刷した場合は、色が薄く印刷されます。 AdobeRGBとは? Adobe社が採用し、Photoshopなどの画像編集ソフトウエアにデフォルト設定している色空間です。また、DCF2.0で拡張されたオプション色空間で、印刷業界で多く使用されている色域を定義した色空間です。AdobeRGBに対応しているかどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
デジタルスチルカメラの画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。		➔ 発色方法の違いやモニターや液晶画面の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
印画範囲いっぱいにプリントされない。	● 画像の縦横比は、合っていますか?	➔ご使用のデジタルカメラの種類によっては、記録される画像の縦横比が異なる為、本機の印画範囲いっぱいにプリントされない場合があります。

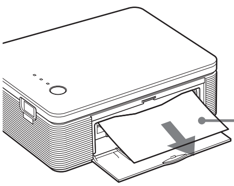
症状	チェック項目	対処方法
縦長にプリントされてしまう。	● デジタルカメラで回転などの加工をしましたか?	→ 撮影した画像に、デジタルカメラで回転などの加工をした場合、カメラの種類によっては縦長にプリントされる場合がありますが、カメラで画像を書き換えたためで本機の故障ではありません。

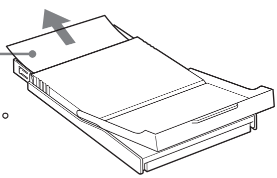
その他

症状	チェック項目	対処方法
プリントカートリッジが上手く入らない。		→ いったんプリントカートリッジを取り出してから、入れなおしてください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのスプールを矢印の方向に押しながら回してリボンのたるみを取ってください(→ 14ページ)。
プリントカートリッジが取り出せない。		→ ペーパートレイを差したまま、本機の電源を入れ直してください。初期動作が止まったらプリントカートリッジを取り出せます。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
用紙が出てこない。	● ERROR(エラー)ランプが速く点滅していませんか?	→ 用紙がつまっています。43ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
	● ERROR(エラー)ランプが点灯していませんか?	→ プリントペーパーを取り除いてから、プリントを再開してください。プリントペーパーを取り除けない場合は、43ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。
プリントが途中で止まってしまった	● ERROR(エラー)ランプが速く点滅していませんか?	→ 用紙がつまっています。43ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

プリントペーパーがつまったら

プリントペーパーがつまると、ERROR（エラー）ランプが点灯、または速く点滅し、プリントできなくなります。
ERRORランプが点灯している場合は、プリントペーパーを手で取り除いてからプリントを再開してください。
ERRORランプが速く点滅している場合は、ペーパートレイとプリントカートリッジを挿したままの状態で電源をいったん切ってから電源を再度入れ、初期動作が終了したら、ペーパートレイを抜き、給紙口（排紙口）にプリントペーパーがつまっていないか確認してください。プリントペーパーがあれば、取り除いてください。





ご注意

プリントペーパーを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源を切るには

STANDBYランプが赤く点灯するまで、STANDBYボタンを1秒以上押し続けます。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ
- 本機後面に充分なスペースがあるところに置いてください。充分なスペースがないと、きれいにプリントができなかったり、故障の原因になる恐れがあります。
- 本体の通風口をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

ACアダプターについてのご注意

- 本機に付属のACアダプターをご使用ください。本機に付属している以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したACアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

結露について

本機を温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたちこめた部屋に置くと、本機の内部に水滴のつくことがあります。これを結露といいます。
この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、プリントカートリッジ、ペーパートレイ、ACパワーアダプターを本体から取り外し、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本体の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に十分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

主な仕様

■ 本体

プリント方式
昇華型熱転写方式YMC3色重ね

プリント解像度
300 dpi x 300 dpi

画像処理
YMC各8ビット（256階調）、約1677万色

プリントサイズ
ポストカードサイズ：
101.6 x 152.4 mm（最大、フチ無し）
Lサイズ：
89 x 127 mm（最大、フチ無し）

プリント時間（1枚）
ポストカードサイズ：約90秒
Lサイズ：約80秒
（パソコン、カメラからのデータ転送時間とデータ処理時間を除く。）

入出力端子
USB端子（1）
PICTBRIDGE端子（1）

対応可能なファイルフォーマット[*1]
JPEG:DCF[*2] 2.0準拠、Exif[*3] 2.21準拠

扱える最大画素数
JPEG: 10,000 x 7,500ドット

使用プリントカートリッジ／プリントペーパー
「プリントパックを用意する」（12ページ）参照

電源
DC IN端子入力、DC24V
（スタンバイ時、1W以下）

動作温度
5°C〜35°C

外形寸法
175× 60.5 ×137mm（幅／高さ／奥行き）
（突起部を含まず）（ペーパートレイ取り付け時の奥行き：400mm）

質量
約 950 g（ペーパートレイ約100 g含まず）

付属品
「付属品を確認する」（11ページ）参照

■ ACアダプター

定格入力
AC100-240V、50/60Hz、1.5-0.75A

定格出力
DC24V、2.2A

動作温度
5℃〜35℃

外形寸法
60 x 30.5 x 122 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起部を含まず）

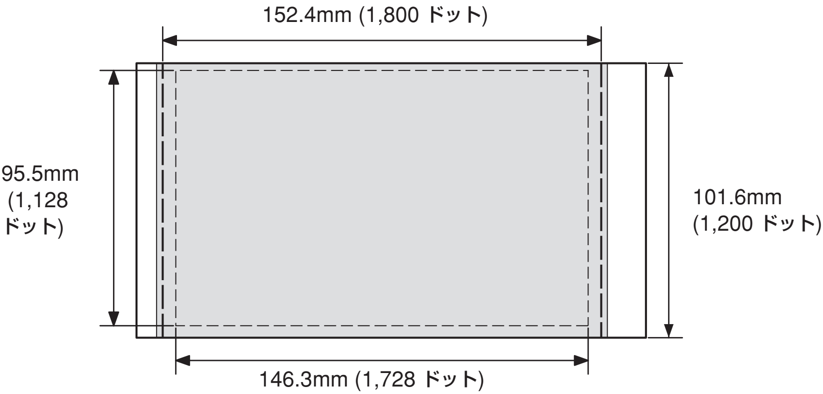
質量
約 305 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

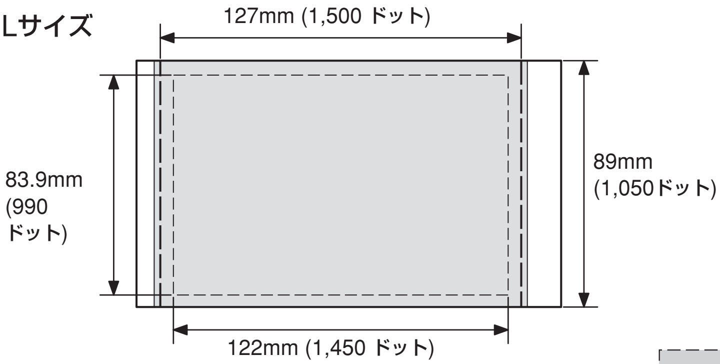
*1:特殊な形式の場合、対応できないことがあります。
*2:「DCF」は、「Design rule for Camera File system」の略称です。
*3:「Exif」は、画像データ以外に、表示用画像、撮影日の他、撮影情報を加えた画像ファイルのフォーマットです。

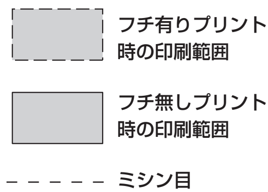
印刷範囲

ポストカードサイズ



Lサイズ





上の図は縦横比が2：3の画像の場合の印刷範囲と余白を示しています。印画範囲は、フチ無し、ふち有りプリントによって異なります。ふち有プリントの場合、余白のサイズはプリントする画像の縦横比によって異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口、お客様ご相談センターへご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPP-FP30
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- パソコンをご使用の場合はパソコンの環境:
  - ご使用パソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量
  - プリンタードライバーのバージョン

用語集

オートファインプリント 3

より鮮明で美しい画質でプリントするために、自動的に画像を補正してプリントする機能です。全体的に暗い画像やコントラストのない画像をプリントする場合に特に有効で、更に肌色や草木の緑、空の青さもより自然に、より鮮やかに補正します。

DCF（ディー シー エフ）

デジタルカメラや、プリンターなどの機器相互間の互換性を取る為に社団法人電子情報技術産業協会（JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

Exif 2.21（Exif Print）（イグジフ2.21（イグジフプリント））

デジタルフォトプリントの世界標準規格です。Exif Printに対応したデジタルカメラでは、撮影条件に関する情報が画像デー タと共に記録されます。本機はExif Printに対応しており、記録された画像の撮影条件を読み取ることで、自動的に撮影意図をより忠実に反映した高品位なプリントができます[*1]。

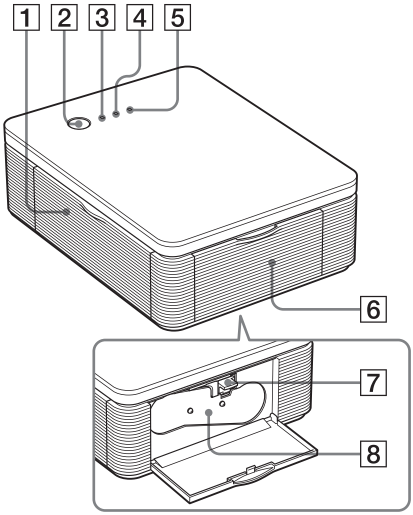
*1: オートファインプリント機能を有効に設定している場合で、デジタルカメラでExif2.21規格にそって撮影された画像（JPEGファイル）は、自動的に最適な画像に調整されてプリントされます。

PictBridge（ピクトブリッジ）

カメラ映像機器工業会（CIPA)で制定された統一規格のことです。PictBridge規格対応デジタルカメラと本機を接続して、デジタルカメラの画像ファイルをプリントすることができます。

各部のなまえ

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。



本体

1 ペーパートレイ挿入ドア（16ページ）

2 STANDBY（スタンバイ）ボタン（17、23ページ）
- 電源を入れるには、STANDBYボタンを押して、STANDBYランプを緑に点灯させます。
- 電源を切るには、STANDBYボタンを1秒以上押し続け、STANDBYランプを赤く点灯させます。

3 STANDBY（スタンバイ）ランプ（17、23ページ）
- 赤く点灯：スタンバイ状態です。
- 緑に点灯：電源が入った状態です。
- 緑で点滅：プリント中です。

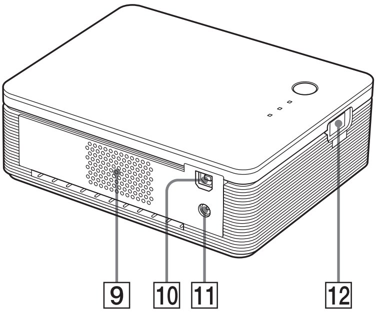
4 PICTBRIDGE（ピクトブリッジ）ランプ（18ページ）
- 点灯：PictBridge対応のデジタルカメラが接続されています。
- 点滅：PictBridge対応のデジタルカメラ以外のUSB機器が接続されています。または、画像ファイルが壊れています。

5 ERROR（エラー）ランプ（13、38、40、42ページ）
- 点灯：ペーパートレイがありません。プリントペーパーがありません。または、プリントペーパーが残っています。
- ゆっくり点滅：プリントカートリッジが終わりました。プリントカートリッジが入っていません。
- 速く点滅：プリントペーパーがつまっています。故障が発生しました。

6 カートリッジカバー（13ページ）

7 プリントカートリッジ取り出しレバー（13ページ）

8 プリントカートリッジ（13ページ）（別売り）

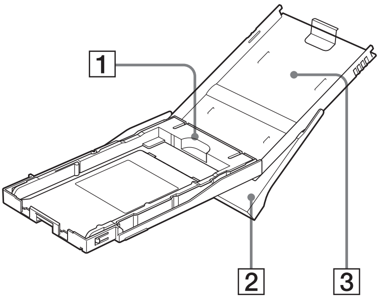


9 通風孔

10 USB端子（23ページ）
PCモードで本機をお使いになるとき、パソコンのUSB端子と接続します。

11 DC IN端子（17、22ページ）
付属のACアダプターのプラグを差し込み、電源コードでACアダプターと家庭用電源を接続します。

12 PICTBRIDGE端子（17ページ）
PictBridgeモードで本機をお使いになるとき、PictBridge対応のデジタルカメラと接続します。



ペーパートレイ

1 トレイアダプター（15ページ）
Lサイズのプリントペーパーを使用時にだけ、取り付けます。

2 排紙トレイ（14ページ）

3 トレイカバー（14ページ）

その他

索引

アルファベット順

五十音順

お問い合わせ窓口のご案内

デジタルフォトプリンターホームページ

デジタルフォトプリンターの商品やサポートの最新情報をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/DPP/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル................ 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は...... 03-5448-3311
- Fax 0466-31-2595

受付時間：
月～金 9:00～20:00
土・日・祝日 9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

Printed in China